

あひるクラスだより 2023.5.

あひるさんの生活にも少し慣れてきた子どもたち。
私たち新しい保育士にも徐々に慣れてきてくれ、一人一人の
人と関わろうとする力はすごいなと感じています。
寒暖差の大きい日が続いていますが、体調に気をつけて下さいね。

今年はお庭のサクラボを沢山食べました。



早く食べたかった
の



ういあんとが
あひるさんに
持ってきて
くれました。



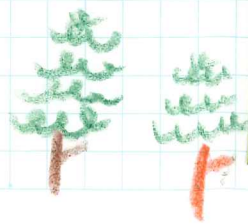
あまいねーおいしいね
もっと食べたい

お散歩

いいもの探し楽しい
あひるさん。
だれかが見つけたもの
楽しいことをみんな
共有しています。



6
「めぎもひだりも」
左右確認し出発



夕木9の綿毛。
ふわふわだね～



ダンゴ虫あり
見つけたよ！
「いーくんみーせても」
「いいよ」

暑い日はお水あそび！
水も汲んで運んで
流して流すのを
集中して繰り返して
います。



としこの車化が
気になる...



あひる
ひと休め...

お水流すの
見てる

「イヤイヤ」ダダコネをどう受け止める？

自分の足で立ち上がり、歩みはじめた子どもたちは「あれが私だ」「ホウを見て」とばかりに一人前に自分を主張しようとする。

いろいろなことを自分でやりたがり、止められず「イヤ」と叫び、あるいはひたすら返って怒ります。わざと気持ちに余裕がないときに限って「イヤイヤ」もダダコネも強く出がちです。

「こっちがやっていいわ」と口をきかなくなるときです。

大人からすると、とても困る「イヤイヤ」やダダコネですが、これは赤ちゃんを卒業して「ジブン」をつくりはじめたがゆえの大切な姿です。そして「ジブン」ができてからこそ、今度は相手を受け入れ、相手とつながり合っていくことができるのです。

大人も一緒に

「イヤ」はとにかく自分の行動を止められたと感じたときに多いようです。あやんでいるときに、片かけおねと言われ、「イヤ」「やらされる」とだけ感じてとにかくイヤになることもあります。言葉だけで子どもを動かそうとせず、大人も一緒にあることが大切ですね。

自分であるの見ていてね

自分でしたい気持ちがいっそう強くなってきます。

大人がした方がずっと早いのですが、自分でしたいのだったら勝手にしてと放っておかれるのもイヤ。自分ですることを見ていて欲しい。見守ってくれる大人がいるから頑張れるのです。

手をかけずに目もかけることが一番。手間暇かかるのですが、子どもの豊かな育ちに必要ではたはらないものです。



子どもはダダコネで育つ

大人から「○○しなさい」と言われ、「もっと○○したいの」とそう簡単には言うことをきいてくれないので。

自己主張に対して「もっと○○した方がいいね」「じゃああと一回ね」「また明日ね」と声をかけず、もちろん一回や明日が理解できるわけではたはれないので。大人から一方的に上から目線で言われるのではたはく、自分の気持ちをちゃんと受け止めてもらいたいと思う。むしろ大人の言うことも受け入れようとしてくれるようにしたい。イヤイヤやダダコネへの対応に決まったマニュアルがあるわけではありませぬ。子どもの行動に対してはたはく、子どもの心と向き合っていきたいものです。

「ちいさいなま」 白石恵理子

お知らせ・お願い

★ 6/7(水)プール開きです。水あそび、プールあそびが始まります。つきましては水遊び用の紙おむつの準備をお願い致します。(詳しくは掲示板にて) 体を拭くフェイスタオルの準備をお願いします。

★ 衣類、靴、帽子など持ち物への名前記入の石確認をお願いします。(名前が薄くなってしまったものも再度書いて頂けると助かります。おしぼりタオルなど)

★ いつもおしり拭きのカンパありがとうございます。今あるおしり拭きの分で6月は間に合いそうです。また再回する時にはお知らせさせて頂きます。